

■用語の解説

遠隔授業

マルチメディア等を用いて、遠隔地においても授業を受けることができるもの。

遠隔授業には、同期型のもの（テレビ会議方式などライブ中継により配信するもの）、インターネットにより既に作成されたコンテンツ（ビデオ教材やその他の学習教材）を視聴して学習するもの（e-Learning）などがあります。

遠隔講義

「授業」とは、「講義」、「演習」、「実習」などを総称した呼び名です。遠隔で行う授業のうち、「講義」を「遠隔講義」といいます。

通常は、「ポリコム」などの機器を使用して、複数の会場をつないで行う双方向の同期型（ライブ中継）による講義のことを指します。

「遠隔授業」の中では「講義」が最も多いため、一般的には「遠隔授業」を「遠隔講義」と呼んだり、逆に「遠隔講義」のことを「遠隔授業」と呼ぶ場合もあります。

e-Learning

e-Learning とは、パソコンやインターネットなどを利用して教育を行なうことです。インターネットに接続していないパソコンで学習するものと、インターネットに接続した環境で教室以外において学習できるものがあります。

後者は遠隔授業の一つであり、これからの e-Learning の主流です。eK4 や知プラ e 等が行う e-Learning とは、通常後者のものを指します。

同期型と非同期型

授業の実施形態から、ポリコムを使った遠隔講義などの同期型授業（ライブ中継）に対して、e-Learning で行うものを非同期型授業（オンデマンド）と呼ぶこともあります。